

## 船舶事故調査報告書

平成22年3月25日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決  
 委員 横山 鐵 男（部会長）  
 委員 山本 哲 也  
 委員 根本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成21年7月12日05時40分ごろ本船が発見された。）
発生場所	不明（本船発見場所は、熊本県津奈木町合串港平国2号防波堤灯台から真方位242°2,030m付近（概位 北緯32°15.85′ 東経130°25.70′）であった。）
事故調査の経過	平成21年7月13日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 漁吉丸、1.44トン KM3-45098（漁船登録番号）、個人所有 9.00m(Lr)×1.83m×0.40m、FRP ディーゼル機関、32kW（漁船法馬力数）、昭和53年5月20日
乗組員等に関する情報	船長 男性 66歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和51年4月30日 免許証交付日 平成20年10月16日 （平成26年8月17日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	船底にペイント剥離及び破口
事故の経過	船長は、水俣市で飲食をしたのち、本船に1人で乗船して、天草市御所浦島烏帽子漁港に入港した。船長は、知人の酒店で酒類を購入し、平成21年7月11日14時00分ごろ同店店員の車で烏帽子漁港に送られた。 同日18時30分から19時00分ごろの間に、釣りをしていた船により、津奈木町大門埼沖400m付近で左旋回している本船と思われる船が目撃されていた。 翌日05時40分ごろ、大門埼の岩場に無人の本船が乗り揚げているのを漁業協同組合の組合員が見付け、海上保安部に通報し、海上保安部、地元消防及び地元漁船が行方不明となった船長の捜索にあたった。 船長は、同月22日08時20分ごろ、本船発見場所の北北東約14海里となる八代市球磨川右岸において、散歩中の人により発見された。死因は溺死と検案された。
気象・海象	気象：天気 雨、風向 南西、風力 2 海象：平穏（波高 0.5m）、うねり なし、海水温度 26℃
その他の事項	本船は、エンジンがかかったまま乗り揚げしており、スロットルは半速力

	<p>前進で、自動操舵装置は装備されておらず、わずかに左舵が取られていた。また、航海灯は点灯していなかった。</p> <p>本船には、他船との衝突痕はなかった。</p> <p>本船船倉には、酒店での購入数量と一致する未開封の酒類が積載されていた。</p> <p>船長は、日常生活に支障はなかったものの、歩行が不自由であった。</p> <p>船長は、救命胴衣を着用していなかった。</p>								
分析	<table border="1"> <tr> <td>乗組員等の関与</td> <td>不明</td> </tr> <tr> <td>船体・機関等の関与</td> <td>不明</td> </tr> <tr> <td>気象・海象の関与</td> <td>不明</td> </tr> <tr> <td>判明した事項の解析</td> <td> <p>死因は溺死であった。</p> <p>本船は、津奈木町大門埼沖を航行中、船長が、救命胴衣を着用せずに落水した可能性があると考えられるが、落水した状況について明らかにすることはできなかった。</p> </td> </tr> </table>	乗組員等の関与	不明	船体・機関等の関与	不明	気象・海象の関与	不明	判明した事項の解析	<p>死因は溺死であった。</p> <p>本船は、津奈木町大門埼沖を航行中、船長が、救命胴衣を着用せずに落水した可能性があると考えられるが、落水した状況について明らかにすることはできなかった。</p>
乗組員等の関与	不明								
船体・機関等の関与	不明								
気象・海象の関与	不明								
判明した事項の解析	<p>死因は溺死であった。</p> <p>本船は、津奈木町大門埼沖を航行中、船長が、救命胴衣を着用せずに落水した可能性があると考えられるが、落水した状況について明らかにすることはできなかった。</p>								
原因	<p>本事故は、本船が、津奈木町大門埼沖において航行中、船長が、救命胴衣を着用せずに落水したため、発生した可能性があると考えられる。</p>								